

新年のごあいさつ

一般社団法人 多治見法人会 会長 大脇 慶二

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。一般社団法人多治見法人会の会員の皆様には、日頃より本会の活動に多大なるご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

新しい年を迎える皆様の企業が益々ご発展され、皆様お一人おひとりが健康で充実した一年となりますことを、心からお祈り申し上げます。

本年、令和八年は丙午(ひのえうま)にあたります。午年は行動力と飛躍の象徴であり、「丙」は物事の発展を意味します。この力強い年に、私たちは新たな経済の潮流に乗り、前進していくなければなりません。昨年は、国際情勢の不安定さに加え、国内では新しい総理大臣が誕生し、特に「積極財政」を柱とした政策運営への転換が強くうかがえました。これは、長年のデフレからの完全脱却と経済成長を重視する姿勢の表れであり、私たち企業経営者にとっては、賃上げや設備投資に対する期待、そして責任が増すことを意味しています。法人会としては、政府の経済政策を注視しつつ、会員の皆様がこの変化を成長の好機と捉えられるよう、最新の情報提供と経営支援を充実させてまいります。

さて、昨年の活動を振り返りますと、税のオピニオンリーダーとしての使命を果たす租税教育活動に加え、会員向けの啓発事業も充実させることができました。特に、昨年11月14日(金)には、オリンピックメダリストの池谷幸雄氏をお迎えし、「夢は果てしなく永遠に」と題した記念講演会を盛大に開催することができました。世界の大舞台で活躍された池谷氏の弛まぬ努力と挑戦の精神は、参加された多くの会員の皆様に、力強い勇気と活力を与えてくれたものと確信しております。この講演会で得られた熱量を、本年の活動の推進力とし、法人会全体の飛躍につなげてまいります。

この丙午の勢いを借りて、多治見法人会は以下の課題に力強く取り組みます。

1. 税務知識の向上と適正申告の推進

新たな税制や制度への対応など、適正な納税を支えるための研修を継続的に実施します。

2. 経営環境の変化への対応支援

「積極財政」下で求められる生産性向上やDX推進など、企業成長に必要な情報と交流の場を提供します。

3. 地域社会の活性化への貢献

租税教育をはじめとする地域貢献活動を通じて、多治見地域の発展に尽力いたします。

「一年の計は元旦にあり」。本年が、会員企業の皆様にとって、この午年にふさわしく、力強い行動と情熱をもって、大きな飛躍を遂げる「成長の年」となることを心から願っております。多治見法人会は、皆様の事業活動を全力でサポートしてまいる所存です。引き続き、温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、多治見法人会のさらなる発展と、会員の皆様のご健勝、並びに事業のますますのご繁栄を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

令和八年 元旦

年頭のごあいさつ

多治見税務署 署長 中川 元子

令和8年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

一般社団法人多治見法人会の皆様には、平素から税務行政につきまして深いご理解と格別のご協力を賜り、また、「租税教室」や「税に関する絵はがきコンクール」といった税の啓発活動に多大なるご尽力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、食料品をはじめとする様々な物価上昇への対応やアメリカとの関税交渉など、国内外の経済情勢に大きな関心が寄せられた一年でしたが、大阪・関西万博の開催や日経平均株価が史上最高値を更新するなど、国内経済に明るい動きも見られました。

このような中、新しく迎える年が、会員の皆様にとって充実した年となりますことを祈念いたしますとともに、一般社団法人多治見法人会が引き続き魅力ある事業活動を展開され、会員企業と地域社会の発展に一層の貢献をされますことをご期待申し上げます。

私どももいたしましては、本年も引き続き、「納税者の自発的な納税義務の履行を適正かつ円滑に実現する」という使命を果たすために、グローバル化やデジタル化の進展等の経済社会の変化に柔軟に対応し、様々な課題に的確に対応していくことが重要であると考えております。

国税庁が推進する「税務行政のDX(デジタル・トランスフォーメーション)」を更に前に進めるために、「納税者の利便性の向上」、「課税・徵収事務の効率化・高度化」に取り組むとともに、法人会をはじめとする関係民間団体の皆様や関係省庁とも連携を図りながら、「事業者のデジタル化促進」にも取り組み、社会全体のDX推進に貢献してまいりたいと考えております。

特に、源泉所得税に係るキャッシュレス納付の利用拡大に引き続き努めてまいりますので、法人会の皆様には、キャッシュレス納付のご利用のほか、周知・広報にご支援を賜りますようお願い申し上げます。

本年も、法人会の皆様と十分に意思疎通を図りながら、信頼関係をより深いものとし、これらの取組を進めてまいりたいと考えておりますので、一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに当たりまして、一般社団法人多治見法人会の更なるご発展と、会員の皆様のご健勝並びに事業のますますのご繁栄を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

